



ウメモト インフォメーション



2020 年 10 月 16 日

担当者: 椎野

(1) 令和2年10月16日(金曜日)

(第2号登録目録第1号)

THE SHINBUN TENBO

(昭和27年5月16日第三種郵便物認可)

全国有力新聞最新部数表

2020年1~6月平均 ABC部数

新聞社名	販売部数	新聞社名	販売部数	新聞社名	販売部数	新聞社名	販売部数
全読売(合計)	7,705,178	全日経(合計)	2,129,733	上毛新聞	286,129	大阪日日新聞	5,527
〃(東京)	4,646,792	〃(東京)	1,258,945	東京新聞	422,593	神戸新聞	466,886
〃(大阪)	2,036,538	〃(大阪)	544,498	朝日小学生新聞	72,867	日本海新聞	156,311
〃(西部)	608,266	〃(西部)	138,448	朝日中高生新聞	44,428	山陰中央新報	180,036
〃(北海道)	179,687	〃(名古屋)	151,132	読売KODOMO新聞	197,799	山陽新聞	331,656
〃(北陸)	83,230	〃(北海道)	36,710	読売中高生新聞	90,986	中国新聞	574,627
〃(中部)	150,665	全産経(合計)	1,329,094	読売キ	73,811	中国新聞SELECT	25,150
全朝日(合計)	5,160,355	〃(東京)	553,906	ニッポン農業	313,547	徳島新聞	198,008
〃(東京)	2,927,835	〃(大阪)	775,188	神奈川新聞	159,807	西国新聞	173,325
〃(大阪)	1,410,136	北海道新聞	919,906	新潟日報	402,886	愛媛新聞	205,859
〃(西部)	438,640	北一東	96,395	北日本新聞	219,452	高知新聞	159,625
〃(名古屋)	281,604	東奥日報	205,849	北陸中日新聞	86,373	西日本新聞	514,104
〃(北海道)	102,140	東岩手日報	183,754	北国新聞	333,084	佐賀新聞	122,026
全毎日(合計)	2,250,756	山形新聞	412,511	日刊民福井新聞	30,654	長崎新聞	168,961
〃(東京)	876,832	秋田魁新報	207,981	福井新聞	179,877	熊本日日新聞	260,534
〃(大阪)	901,982	山形新聞	191,990	梨日新聞	187,597	大分合同新聞	183,472
〃(西部)	371,073	福島民報	237,625	信濃毎日新聞	438,698	宮崎日日新聞	192,733
〃(中部)	76,457	福島民友	167,907	岐阜新聞	153,900	南日本新聞	262,479
〃(北海道)	24,412	茨城新聞	121,941	静岡新聞	589,285	The Japan News	12,903
		下野新聞	285,343	京都市新聞	2,136,296	道新スポーツ	34,882

引用記事 : 日本経済新聞 ・ 燃料油脂新聞 ・ 化学工業日報 ・ 新聞展望



ウメモト インフラオメーション



2020年 10月 15日

担当者: 山本

2020年全米 EIAが見通し発表

原油生産量を上方修正

【ニューヨーク】EIA（米エネルギー情報局）が6日、2020年の全米の原油生産量の見通しを上方修正したことを明らかにし

た。前回の前年比87万バレル減の予想に対し、80万バレル減少して1145万バレルになる見通しだという。石油・ガス掘削リグ

数が10月第1週、2018年10月以来、初の3週連続増加が上方修正の要因とみられる。しかし新型コロナウイルス感染再拡大への

懸念から、原油需要は前回の前年比212万バレル減を下方修正し、231万バレル大幅減の1823万バレルの見込みとした。

2021年の全米の原油生産量の見通しは前年比36万バレル減の1109万バレル。需要は174万バレル増の1997万バレルとした。

引用記事

日本経済新聞

燃料油脂新聞

化学工業日報

2020 年 10 月 15 日

担当者: 若山

OPEC 世界の石油需要見通す 2030年代後半がピークか

【ロンドン】OPEC（石油輸出国機構）は8日、世界の石油需要が2030年代後半にピークに達する見通しを明らかにした。

OPECは、世界経済の回復とともに、乗用車・トラックの燃料消費量や産業による消費量の増加が今後10年間、需要全体を押し上げると見込んでいる。レポートによると、需要の代理指標である石油消費量は2021年、前年比700万バレル増の9770万バレル、2024年1億260万バレル、2030

年1億720万バレルになる見通しだという。しかし在宅勤務や移動の制限などの新型コロナウイルス流行による短期的な影響のほかに、燃費の向上やEV（電気自動車）の普及により、消費量は2030年以降、減速し始める

め、2040年まで1億930万バレルにとどまる見込みとした。一方で、バルキンド事務局長は「石油は2045年まで、エネルギー・ミックスにおけるシェアの大部分を占めるだろう」と話し、石油が変わらず重要なことも強調した。

2020年 10月 15日

担当者: yoshida

大日本印刷(DNP)が「第三の創業」を掲げ、構造転換を急いでいる。印刷市場はほぼ半減し、取引先の完全な待たせを受け身の経営では生き残れない。狙ったのが新型「コロナウイルス」力という資産をデジタルで生かす。

オンライン診療などニーズ開拓

出版減少、迫られる転換

「発表ができた部分も映していただく」。医師が画面越しに話しかける。患者がスマートフォンで患部を映すと、子細に観察し診断を下した。DNPがテストを進めるオンライン診療の一幕だ。使っているのはただのビデオ通話ではない。色調を補正し、肉眼で見るとほぼ同じ色合いを画面上に再現している。

肉眼の映り再現
オンライン診療はコロナ対策として全面解禁され、管政権は規制緩和の目玉のひとつとして恒久化に動いている。医師側が反対する理由の一つが

「画面越しでは正確な診断ができない」。医師が「スマホの画面を介すと自分が赤色だと思っても、相手側は同じ赤色に見えていないかもしれない」と実験に協力する千葉薬敏雄医師は指摘する。患者側の部屋の照明やスマホのカメラの性能で色調が左右されるためだ。DNPは患者の元に1センチ四方の紙片を郵送する。赤や青など9色の正方形が刷られたカラーチャートだ。患部のそばに貼ってスマホで撮影してもらい、チャートの色が正確に映るよう補正すれば患部の色も正確になる。調整を終えれば、印刷物の印刷データ2万点を活用

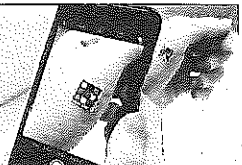
「印刷物に合わせ1500種の字体を使い分ける技術を活用」
テレビや動画で出演者の発言を自動分析

大日本印刷、動画で稼ぐ

印刷で培った表現力をデジタルで活用

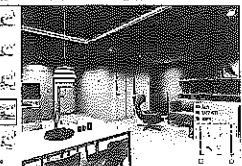
オンライン診療向け画像調整

- 1センチ四方のカラーチャートを基準に、肉眼で見た色調と同じになるよう補正
- 患部の色や顔色を正確に診断



高精細CGで空間を再現

- 住宅向け建材の印刷データ2万点を活用
- 部屋やインテリアのオンライン内覧に



動画の字幕で感情を表現

- 印刷物に合わせ1500種の字体を使い分ける技術を活用
- テレビや動画で出演者の発言を自動分析



DXTREND

デジタルトランスフォーメーション

09年3月期の1兆5848億円から、20年3月期は1兆4018億円に落ちている。

18年に就任した北島隆齊社長は「客に言われた通り印刷するだけでは生き残れない。社会課題を解決する製品やサービスを開発する」と「第三の創業」の狙いを説明する。その柱のひとつが、DX(デジタルトランスフォーメーション)だ。

培った技術、異分野に転用

英エコノミスト・インテリジェンス・ユニットによると、2020年の世界の印刷市場は17年比8.2%増の4210億ドルになる見通し。インドなど新興国では拡大しているが、日本や欧米では縮小傾向だ。日本印刷産業連合会は紙の電子化で将来的には世界的に需要が減少していくとみる。

印刷業者がいかに生き残るか、海外に先行事例がある。1990年代創業の独逸・ゼンケンドデータブリントは紙幣の印刷が主力事業だったが、現在はセキュリティ関連を主力とする。紙幣など機密性の高い印刷データを管理するノウハウを応用しており、19年の売上高は前年比1割増だ。

他業界では富士フイルムが海外に先行事例を身に着けた。デジタルカメラの登場で写真フィルム需要が激減するなか、技術を転用し液晶調成や化粧品、医療機器を成長エンジンに据え替えた。競争相手にある企業は、培った技術を生かした開拓力が問われる。(金岡大輝)

引用記事

日本経済新聞

燃料油脂新聞

化学工業日報